

個別施設計画

策定年月 | H31.1

施設名	倉敷天城高等学校・中学校			所在地	倉敷市藤戸町天城269		
敷地面積	58,500.18 m ²			棟数	48 棟 (計画記載対象 13 棟)		
延床面積	15,312.76 m ²				※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	中学校及び高等学校教育のため						
【想定される自然災害】							
予想震度 5強 津波 - 浸水 -							
建築規制	市街化区域、第一種低層住居専用地域 建ぺい率40%、容積率80%						
エネルギー使用量 (2017年度)	電気	ガス	水道	燃料 (灯油)			
	519,131 kWh	459 m ³	7,446 m ³	700 ℓ			
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 倉敷市指定緊急避難場所・指定避難所(洪水、土砂災害、高潮、津波)						

1 施設内建物の概況

名 称	特別教室棟(100棟)30	理科棟(101棟)31	管理普通教室棟(103棟)32
築年(西暦)	2005 年	2005 年	2007 年
構 造	鉄筋コンクリート造 3 階	鉄筋コンクリート造 3 階	鉄筋コンクリート造 4 階
建築面積	481.94 m ²	344.64 m ²	1,383.20 m ²
延床面積	1,173.16 m ²	979.44 m ²	3,847.28 m ²
主要な用途 (室名等)	図書室 調理教室 被服教室	生物教室 化学教室 物理教室	普通教室
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備 給排水設備 消火設備	空調設備	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	圧縮強度	圧縮強度
	中性化 ※3	中性化	中性化
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	昇降口棟(104棟)33	格技場(3棟)4-1	体育館(34棟)11
築年(西暦)	2007年	1927年	1958年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	木造 1階	鉄骨造 1階
建築面積	362.63 m ²	307.40 m ²	594.18 m ²
延床面積	785.93 m ²	307.40 m ²	594.18 m ²
主要な用途 (室名等)	多目的教室 総合学習室	武道場	体育館
主要な設備 (屋外を含む)	-	-	-
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 中性化 ※3	圧縮強度 ※2 中性化 ※3	圧縮強度 ※2 中性化 ※3
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	屋根 外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	食堂・生徒集会室棟(42棟)35	体育館(68棟)21-1	普通教室、特別教室、保健室棟(84棟)23-2
築年(西暦)	1966年	1975年	1985年
構 造	鉄筋コンクリート造 2階	鉄骨 造 2階	鉄筋コンクリート造 5階
建築面積	180.00 m ²	716.35 m ²	66.26 m ²
延床面積	383.23 m ²	1,432.70 m ²	908.53 m ²
主要な用途 (室名等)	食堂 厨房 研修室	体育館	コンピュータ室 LL教室 社会科教室
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備	-	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	不適	適
	中性化 ※3	適	不適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	外壁	外壁	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	部室棟(99棟)29	特別教室棟(2棟)2	普通教室(2F~4Fの一部)(6棟)3-1
築年(西暦)	2005年	2007年	1979年
構造	コンクリートブロック造 1階	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 4階
建築面積	271.20 m ²	500.00 m ²	66.90 m ²
延床面積	271.20 m ²	1,000.00 m ²	200.60 m ²
主要な用途 (室名等)	部室	多目的室 技術室 サイエンスラボ	普通教室
主要な設備 (屋外を含む)	-	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 消火設備	消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		適
	中性化 ※3		適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	普通教室・保健室(1F~4Fの一部)(7棟)3-2		
築年(西暦)	1985 年		
構 造	鉄筋コンクリート造 5 階		
建築面積	78.37 m ²		
延床面積	277.11 m ²		
主要な用途 (室名等)	普通教室 保健室		
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備		
利用状況	高		
耐震性 ※1	有		
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	
	中性化 ※3	適	
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	
	地盤沈下 ※5	適	
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし		

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
特別教室棟(100棟)30	予防保全を図る。
理科棟(101棟)31	予防保全を図る。
管理普通教室棟(103棟)32	エレベーターを設置する。設置に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
昇降口棟(104棟)33	予防保全を図る。
格技場(3棟)4-1	設備等の定期更新を行う。
体育館(34棟)11	設備等の定期更新を行う。
食堂・生徒集会室棟(42棟)35	予防保全を図る。(予防保全を図りながら使用した後、改築等を検討する。)
体育館(68棟)21-1	長寿命化改修を行う。
普通教室、特別教室、保健室棟(84棟)23-2	長寿命化改修を行う。
部室棟(99棟)29	予防保全を図る。
特別教室棟(2棟)2	予防保全を図る。
普通教室(2F～4Fの一部)(6棟)3-1	長寿命化改修を行う。
普通教室・保健室(1F～4Fの一部)(7棟)3-2	長寿命化改修を行う。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

1 設備等更新 劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
2 エレベーター設置 (103棟)2019年度以降設計・施工
3 長寿命化改修 中性化対策・屋上防水等を行うほか、内部・外部の改修を行う。 (68棟)2020年度以降設計・施工 (84棟、6棟、7棟)2023年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
特別教室棟 (100棟)30	予防保全		予防保全を図る。								
理科棟(101棟) 31	予防保全		予防保全を図る。								
管理普通教室 棟(103棟)32	設備等の 定期更新			エレベーター							
昇降口棟(104 棟)33	予防保全		予防保全を図る。								
格技場(3棟)4- 1	設備等の 定期更新								照明 設備 LED化		
体育館(34棟) 11	設備等の 定期更新								照明 設備 LED化		
食堂・生徒集会 室棟(42棟)35	予防保全		予防保全を図る。								
体育館(68棟) 21-1	長寿命化改修				設計・施工 7						
普通教室、特別 教室、保健室棟 (84棟)23-2	長寿命化改修							設計・施工 2			
部室棟(99棟) 29	予防保全		予防保全を図る。								
特別教室棟(2 棟)2	予防保全		予防保全を図る。								
普通教室(2F～ 4Fの一部)(6 棟)3-1	長寿命化改修							設計・施工 84棟に含			
普通教室・保健 室(1F～4Fの一 部)(7棟)3-2	長寿命化改修							設計・施工 84棟に含			

4. 概算費用

総額 9億円(長寿命化改修)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R2.3	管理普通教室棟(103棟)において、設備等の定期更新時期を変更
R4.3	体育館(68棟)において、長寿命化改修工事の時期を変更
R6.3	格技場(3棟)及び体育館(34棟)において、設備等の定期更新を追加